

設立趣意書

現代のように欲しいものが望めば手に入るという状況ではなかった時代、人々は手を動かし、既存のものを工夫することで必要なものや欲しいものを生み出してきた。しかし、ものに恵まれどんなものでも簡単に入手できてしまうようになった今、人々が手を動かす機会は少なくなっている。それと同時に「ものづくり」という言葉が脚光を浴び、人間の成長過程における「ものづくり」の重要性が認識されるに至った。

趣味や遊びでも、その楽しみ方が「創造する」から「収集する」に変化しつつある。ものを集めることも楽しみの一つだが、いつの時代にあっても自ら工夫し、手を動かし、苦勞して作り上げたものの以上に魅力あるものはない。

鉄道模型も例外ではない。収集を目的とする愛好家がいる一方で、自ら手を動かし、鉄道模型を創ることに興味を示す高校生も少なくない。しかし、現状ではそういった鉄道模型制作に情熱を注いでいる高校生たちが、その努力を発表する場がない。そこで「全国高等学校鉄道模型コンテスト」を開催し、鉄道模型に興味を持ち、手を動かして制作活動を行っている高校生たちを正当に評価する場を設けたいと考えた。また、このコンテストが単なる発表の場ではなく、全国の鉄道模型を愛する高校生が交流し切磋琢磨する場となるような環境づくりをしていきたい。そして、そこで得た経験や技術を自分の学校やクラブの後輩たちに伝えることで、次の高校生モデラーの育成にもつなげたい。

よってここに「全国高等学校鉄道模型コンテスト実行委員会」を設立し、鉄道模型制作の発表の場を与え、交流を通じて鉄道模型の普及と次代を担う若いモデラーの育成に貢献するとともに、手を動かすことを忘れた高校生に「ものづくり」の楽しさを実感させようとするものである。鉄道模型を買って眺めて集めるだけで完結せず、手を動かして風景を作り、車輦に自らのスパイスを付け加えて宝物としてほしい。

平成 23 年 1 月 23 日

発起人一同